

第5回塩竈市立学校規模適正化等検討委員会会議録

◆日時 令和6年11月27日(水) 午後6時00分～午後7時30分

◆場所 壱番館庁舎4階視聴覚室

◆出席委員

会 長	高 橋 仁	副 会 長	佐々木 利佳子
委 員	佐 藤 英	委 員	堀 内 瑞
委 員	高 橋 陽香	委 員	江 湖 貴 恵
委 員	高 橋 理	委 員	今 野 元 博
委 員	伊 藤 咲 那		

◆欠席委員

委 員 本 間 良

◆事務局

教 育 長	黒 田 賢 一	教 育 部 長	末 永 量 太
教 育 総 務 課			
次 長 兼 課 長	櫻 下 真 子	課 長 補 佐 兼 教 育 総 務 係 長	鈴 木 亮 平
学 校 教 育 課			
参 事 兼 課 長	松 崎 和 佳 子	副 参 事 兼 課 長 補 佐	佐 藤 和 夫
主 幹 兼 学 校 教 育 係 長	津 田 康 之	主 幹 兼 学 習 支 援 係 長	佐 藤 拓 郎
主 事	鈴 木 卓 哉		

◆次 第

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 議事
学校規模の適正化等に関する方針(案)について
- 5 その他
- 6 閉会

1 開会 午後6時00分

2 教育長挨拶

黒田教育長より挨拶

3 会長挨拶

高橋会長より挨拶

4 議事

「学校規模の適正化等に関する方針（案）について」

松崎学校教育課長から、資料に基づき説明

〔主な質疑・意見〕

- 委員 検討委員会としての答申を出してから、今後どのような計画で進んでいくのか、ロードマップのようなもので示し、参考資料に追加してもらいたい。
- 委員 児童生徒の意見については、方針案12ページの「今後の学校の在り方に関する意見交換会について」と同様に類型化した状態で記載してほしい。また、検討委員会は、これまでの経過や市民、児童生徒の声を踏まえて検討を行ってきたということを答申の中に記載してほしい。
- 事務局 検討委員会での答申と、それを踏まえた市が作成するたたき台の住み分けが曖昧にならないように記載したいと思う。
- 委員 原案のように、最初のページに「本市が目指す学校教育」とあると行政文書のような気がしてしまう。答申では最初のページに「はじめに」ということで検討委員会としてのスタンスを記載するようしたい。また、事務局からあったように答申とたたき台の住み分けが曖昧にならないような工夫をお願いしたい。
- 委員 方針案5ページからのデータについて、数字がずれている箇所があるため、修正していただきたい。また、どのような推計値なのかがわかるような解説を記載してほしい。
- 委員 方針案11ページからの「本市の学校教育における課題」について、塩竈市では大枠として「未来にはばたく塩竈っ子の育成」を目指しているのだと思うが、今何が課題でそれに対してどのような対応をしているのかが見

えるように記載してほしい。

また、特別支援教育について何か取組は行っていないのか。

事務局 塩竈市では、現在各学校に2名ずつ特別支援教育支援員を配置し、サポートを行っている。また、今後は教員の研修等も必要になると考えている。

委員 不登校やいじめにだけ焦点を当てるのではなく、一人一人の児童生徒の実態に応じた指導の推進として、特別支援も含めた様々な特徴を持つ児童生徒への個別最適化に向けた取組について記載をしてほしい。

委員 方針案15ページに記載のある、学級数が少ないことによる課題の中に「児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる」とあるが、授業の展開は教員の腕でカバーできるものであるため、ここに記載すべきではないのではないのか。

委員 最終的に適正化の対象とするか否かの判断は市が行うと思うが、よりわかりやすくするために、どのように記載するかもう一度検討していただきたい。

また、複式学級を有する状態が見込まれる場合は、急ぎ検討を進めるということダイレクトに表現しても良いのではないのか。

委員 統合する際に配慮すべき事項として、どちらかの学校が吸収されるのではなく、同等の立場で新しい学校づくりを行うということを加えてほしい。

委員 以前の検討委員会で小中一貫校という意見があったが、そのような学校の形態や在り方がきちんと伝わるような記載が必要だと考える。

委員 今の段階で小中一貫校を作るという考えはあるのか。

事務局 現段階では検討していない。

委員 現段階で検討していないが、今後方針の見直しの際に小中一貫校の検討を行う可能性があるのであれば、「その他」に記載してほしい。

また、「配慮すべき事項」には意見があったように、適正化を進める上では吸収統合ではなく対等統合とすることを記載してほしい。対等統合とは、児童生徒ヒアリングの意見を踏まえて新しい学校を作ることであるという方向性を示してほしい。

- 委員 保護者に対する配慮について、どこまで具体的に記載するか再度検討してほしい。
- また、児童生徒に対する配慮では、子どもたちが意見を発する機会を設けるということを記載してほしい。他の自治体では子どもたちが意見できる機会が無かったということも聞いたことがあるので、ぜひ取り入れてほしい。
- 委員 原案に示されている児童生徒に対する配慮は、運営側の視点になってしまっている。児童生徒の意見を聞きながら新しい学校を作る準備を進めることや、制服等について2、3年前から検討を行うなど、どのような工夫をして進めていくかというストーリーをわかりやすく記載してほしい。
- 委員 現在、塩竈市内のすべての学校がコミュニティスクールとして地域に根差した教育を行っている。
- 学校は、地域文化の継承の場という役割も担っているため、統合する際には大切な地域の文化が無くならないような配慮もしていただきたい。
- 委員 児童生徒は小規模校や大規模校についてどのような意見を持っているか知りたい。
- 委員 実際に小規模校と大規模校の両方を経験したことがある子どもに意見を聞いたことがあるが、大規模校の方が良いと言っていた。
- 小規模では、万が一友人関係でトラブルがあったときに逃げ場がなく、独りぼっちになってしまうという恐怖感を常に抱いていたようである。その点を考慮すると、複数学級は必要だと思われる。
- 委員 地域の伝統芸能や文化は、学校主体から地域主体に戻った自治体もあるようである。
- 文化の継承は学校に一任ではなく地域主体で行うという考えも必要であるため、そういった点も含めて地域と新しいコミュニティの形成を検討していかねばいけないと思う。

6 その他

第6回の開催は、令和6年12月19日（木）に決定

7 閉会 午後7時30分